
iD

斜雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

i D

【Nコード】

N 5 1 9 7 I

【作者名】

斜雨

【あらすじ】

どんなやつにも1つくらいとりえがあるもんだ。

ある時、世界の進歩が止まった。さらなる進歩をするために人類は決断したのだが……。

- 序 - (前書き)

いつかきつと文明の進歩が止まる時が来るのではないか。もしそう
なったら、人類はどんな対応を取るのだろうか。その結果、誰もが
特殊な能力を持つことになったら・・・。そんなことを考えながら
書いた作品です。今後、どの様に話が展開していくか、自分自身全
く予想がつきませんが、少しでも面白いと思って頂けたら幸いです。

どんな奴でも1つは“とりえ”があるもんだ

どこかの誰かがそんなことを言っていた。

自分の“とりえ”が何なのか、ちゃんと把握している人は何人いるのだろうか。

「どんなにつらくたって、絶対に泣かないことだけが私の“とりえ”なの！」

「俺は興味を持ったことにはなんでも挑戦する。それが“とりえ”なんだよ。」

“とりえ”とはその人の性格を示しているのではないのだろうか。

“とりえ”とはその人の個性ではないのだろうか。

“とりえ”とは一体どこから来るのだろうか……。

- 終わりからの始まり -

1000年前、その時は突然訪れた。

人類は新しい発見をすることができなくなった。
完全に文明の進歩が無くなってしまったのだ。

人々はその時期のことを『終止符^{ヒリオダ}』と呼ぶ。

人類は思い悩んだ。

もう自分達はこれ以上進歩することができないのか。
もう新しい何かを見つけないことはできないのか。
もうこれですべて終わりなのか……。

12月31日

世界首脳会議で、ある人物が突然言い出した。

「教育方針を変えてみてはどうだろうか？」

会場全体がざわめく。

その人物はさらに発言を続けた。

「そもそも、誰もが同じ知識を身につける必要はあるのだろうか？
誰もが思ったことがあるはずだ。こんな知識、将来役に立つのか？
と。」

会場の中で「確かに……」という声が聞こえ始めた。

「人間の寿命は短いんだ。そんな知識を身につける暇があるなら、
もっと各々に合った知識だけを習得していった方がいいのではない
か？」

この発言を聞いて、別の人物が反論した。

「そういうわけにはいかないだろう。数学、生物学、物理学など、
様々な分野の知識を組み合わせることによって新しい発見ができる
んだ。そんな一芸特化で進歩するとは到底思えない。」

「分からないことは分かる人に聞けばいい」

この言葉で世界は変わった。

すなわち、『平均的学力向上教育』から『一芸特化型教育』への切り替わりである。

人々はこの日を『転生日』と呼んだ。

そして次の日から『真歴』が始まった。

しかし、誰もが予想できなかった形に世界が変わっていくこととなった。

- 始まりからの目覚め -

『^{アダム}真歴500年』

一芸特化型教育が始まってから500年が経った頃、世界中で不思議な力を持つ者が現れ始めた。

燃えさかる炎の中においても全く火傷を負わない者

思い通りに雨を降らすことができる者

植物の気持ちが分かる者

自由に空を飛ぶことができる者

これらの様な力を持つ者たちの出現によって、世界は一時的に混乱することになる。

しかし、

『^{アダム}真歴800年』

世界中、誰もが不思議な力を持つようになった。

そして、誰もが不思議な力を不思議と思わなくなった。

この不思議な力を研究していた者は、

「一芸特化型教育により、不得意な事に脳を使用することが無くなった。そして、得意な事だけに脳を使用するようになったため、脳がより活性化され、不思議な力が発現した。」
というように結論付けた。

これらの力は、似たような物は存在するが、ある条件以外では全く

同じ物は存在しなかった。

そのため、この力を個性・独自性・自分らしさという意味の *identity* (アイデンティティ) から頭二文字を取って

【iD (アイディ)】

と名付けられた。

『^{アダム}真歴 970年』

【iD】の研究が進み、この力は心の本質に起因していることが判明した。

そして、その心の本質が属性で分類されるようになった。

例えば、

火：情熱、豪快・・・

水：冷静、冷徹・・・

風：自由奔放、気楽・・・

といった様に。

『^{アダム}真歴 1200年』

さらなる研究により、遺伝子配列からその者の心の本質を調べることが成功した。

それにより、生まれたばかりの赤ん坊の遺伝子を検査して心の本質を決定し、より早い段階から一芸特化型教育を行うことが可能となった。

そして現在に至る・・・。

・始まりからの目覚め・（後書き）

や、やっとこれで本編に入れる……。皆さん初めまして。新参者の斜雨しやうです。え？なんで3話目で自己紹介するのかって？3話目にやっと「前書き」やら「後書き」やらをどう使ったらいいか分かったんですもの！ははは！ははは……。これからも更新遅いかもしれませんが、書きを書いていこうと思います。もし感想などありましたら、どんどん！ドシドシ！書いてくださいね！続きを書く励みにもなりますし、読んで下さった皆さんとつながりができると僕としてはうれしすぎるわけです！長くなりましたが、少しでもこの話に興味を持って下さった方、続きも読んでくださる方、これからもよろしくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5197i/>

iD

2011年1月9日06時59分発行